

## 「学生団体シンポジウム～6大学と学生1万人が弘前をつくる～」に参加して

社会福祉学部 社会福祉学科 3年

工藤桜佳

12月2日、「学生団体シンポジウム」にヒロガクインクルージョン（以下、ヒロイン）のメンバーとして参加しました。今回、学生団体シンポジウムに参加して一番学んだことは、失敗を恐れず何事にも積極的に挑戦するということです。

ポスターセッションでは、「福祉教育」と「認知症徘徊模擬訓練」をテーマに報告を行いました。たくさんの方々がブースに来てくださり私たちの活動に興味を持って頂くことができたのではないかと思います。「社会福祉と聞いてどのようなイメージを持ちますか？」と聞くと、だいたいの方が「よくわからない」との返答であったため、やはり社会福祉の理解というものがまだまだ少ないと感じました。しかし私たちが行った活動を発表すると、「社会福祉ってこれからますます注目されそう」、「すごくおもしろそうな活動」という感想や、1番多かったのが「社会福祉って今まで介護のイメージしかなくて、よくわからなかったけど、楽しそうな仕事だと思った」と、少しでも社会福祉の楽しさややりがいというものを伝えることができたのではないかと思います。

初めて他大学の学生と交流する場や、自分達の活動を発表する場に参加して改善点がたくさん見つかったものの、私たちもこんな活動をしてみたいという気持ちのほうが大きく、良い刺激になりました。またシンポジウムに参加する前は、他大学の学生と比べて私達がやっている活動は劣っているのではないかと引け目を感じてしまっていた自分自身がいましたが、他大学の学生の方に、「一般企業とは繋がりがあるが、社会福祉の分野は全く繋がりがなく、また繋がり方もわからないので、今後何かの形で一緒にできたらいい」と言って頂くことができ、この活動は私達だからこそできるのだと、自信にも繋がりました。

今月で3年生は引退となるものの、残りの学生生活で今回吸収した他大学の活動の良いところを活かしながら、1・2年生をバックアップしていきたいと思いました。またヒロインで行っている活動の報告等をできる機会や、SNS等外部の方々にも発信していけたら良いのではないかと感じたため、これからの方向性をみんなで話し合い決めていきたいと感じました。

先日私たちは初めて、「石田ゼミ」で「西弘ちょうちん祭り」をテーマに学生団体シンポジウムというものに参加してきました。今回参加した 20 団体の中でも、一番学びの多かったポスターセッションについて紹介したいと思います。

他の団体のポスターセッションでは、様々な工夫を凝らしたポスターはもちろんのことその他にも、パンフレットを配布しながらの発表や、タブレットを用いての発表であったり、また聞いている方々にクイズを出しながらの発表など、私達にはとても思いも付かなかったアイデアで分かりやすく、そして楽しい発表ばかりでした。

相手に何かを伝える時には「楽しさ」も必要であると感じました。「分かりやすく伝える」ということは大前提の下、「見ている方を飽きさせない工夫」も必要であると学びました。

今回の私たちのポスターセッションでは、相手に分かりやすく伝えるという事だけに重点を置き、相手を楽しませる飽きさせない為の工夫ができていなかったと思います。しかし、これが今の私たちの出せる力の全てであったと感じています。他の団体の良い所を参考にし、自分のものにしたいです。

今回の学生団体シンポジウムは、自分の無力さを痛感した一日でした。それと同時に多くの事を吸収し、多くの学びがあった一日でもありました。このような場に一年生のうちから参加させて頂けたという事は、とても有難い事だと思います。この経験を今後の糧とし、向上心を忘れずにこれからも積極的に様々な活動に参加していきたいと思っています。

